



病気と向き合う子供たちと、そのご家族へのチャリティ活動

「青いマックの日」募金総額 105,009,725円^{※1}

初開催のチャリティ音楽フェス「The BLUE HAPPY FESTIVAL 2024」には約9千人が来場
皆さまからの温かいご支援、ご協力ありがとうございました！

日本マクドナルド株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長兼 CEO：トーマス・コウ）は、病気と向き合う子供とそのご家族のための滞在施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス（以下、DMH）」支援を目的としたチャリティ活動「青いマックの日（マックハッピーデー）」を、10月20日（日）に全国のマクドナルド店舗にて実施し、お客様からお寄せいただいた募金とマクドナルドからの寄付などを合わせた総額が、105,009,725円^{※1}となりましたことをご報告いたします。



「青いマックの日（マックハッピーデー）」は、全国のマクドナルドでハッピーセット[®]のご購入1つにつき50円を、マクドナルド^{※2}がハウスを運営する公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン（以下、DMHC）に寄付させていただくチャリティ活動で、当日は DMHC 支援のテーマカラーである青色のバルーンや POP で青く染め^{※3}、商品をお渡しするテイクアウトバッグを青い限定デザインで提供するなど、“青いマックの日”としてマックハッピーデーを盛り上げました。

また、マックハッピーデーとして8年目を迎え、「青いマックの日」として3年目である今年は、「青いマックの日」から生まれた初開催のチャリティ音楽フェス「The BLUE HAPPY FESTIVAL 2024」に特別協賛しました。10月17日（木）に開催された本フェスには、約9千人が来場し、会場での募金および売上の一部25,404,938円が DMHC に寄付されます。

皆さまからお寄せいただいた募金はすべて DMHC へお届けさせていただきます。皆さまからの温かいご支援・ご協力に、心から感謝を申し上げます。

マクドナルドが社会貢献において一番大事にしていること。それは、未来を担うすべての子供たちが笑顔になること。その一環として“病気と向き合う子供たちの笑顔”を支援しています。マクドナルドではこれからも、より豊かなお食事の時間を過ごしていただける商品のご提供と共に、このような活動を通して社会に貢献する取り組みを進めてまいります。

※1 マックハッピーデーチャリティキャンペーン期間中の募金総額<期間：2024年10月1日（火）-10月31日（木）>。ハッピーセット販売数に応じた寄付、募金付きクーポンによる募金、店頭募金およびマクドナルドフランチャイズ法人からの寄付を含む総額です。期間中の Yahoo!ネット募金など DMHC へ直接支援いただいた金額も含まれます。

※2 日本マクドナルド（株）およびマクドナルドフランチャイズ法人

※3 一部、装飾対象外の店舗もございます。

「ドナルド・マクドナルド・ハウス」概要

自宅から遠く離れた病院に入院する子供に付き添う家族のための滞在施設

「ドナルド・マクドナルド・ハウス（以下 DMH）」は自宅から遠く離れた病院に入院・通院する子供に付き添うご家族のための滞在施設です。重い病気に苦しむ子供たちが専門的な最善の医療を受けるためには、自宅から遠く離れた病院に入院するケースも多くあります。子供の入院にはご家族の付き添いが必須になるため、ご家族を地元に残して病院に通う生活を続けなければならない親御さんは、心身ともに疲弊してしまいます。ご家族の経済的、精神的、肉体的負担を少しでも軽減し、入院している子供に笑顔で付き添えるように、DMHは病院のすぐそばに建てられており、1人1日1,000円で利用できます。

DMHの運営は100%寄付や募金、地域ボランティアの力に支えられており、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンが運営しています。DMHは全世界に390カ所、日本には12カ所*開設されています。

*ハウス数は2024年11月時点のものです。



<ご家族の経済的負担>

治療費や地元に残したご家族の生活費に加え、病院に通う交通費や生活費など、入院期間が長期になるほど負担が大きくなります。

<ご家族の精神的・肉体的負担>

病院内の簡易ベッドや椅子で仮眠をとることも多く睡眠が十分に取れない日々が続きます。また、調理が難しい環境におかれるため、インスタント食品に頼るなど食生活にも影響が出ます。このような状況が続くことで、心の余裕も失われてしまうのが現実です。

<ドナルド・マクドナルド・ハウスと日本マクドナルドとの関係性>

子供が入院した際の経験から、アメリカンフットボール選手が病院の近くにご家族が少しでも安らげる滞在施設を求める活動をはじめました。これに病院医師や近隣のマクドナルドフランチャイズのオーナーが協力し、1974年にフィラデルフィアでハウスは誕生しました。日本では、2001年に第1号ハウスが誕生、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンが運営しています。日本マクドナルドは、1号ハウスの開設のみならず、財団の設立から深く関わり、継続してハウスをサポートしております。

<一般のお客様のお問い合わせ先>

マクドナルド公式ホームページ <http://www.mcdonalds.co.jp/>